

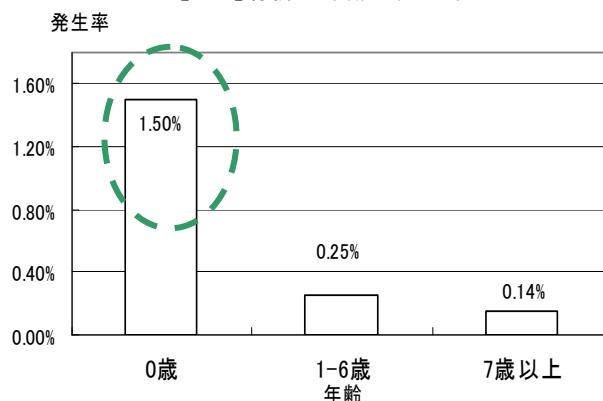


どんなわんちゃんに骨折が多い？

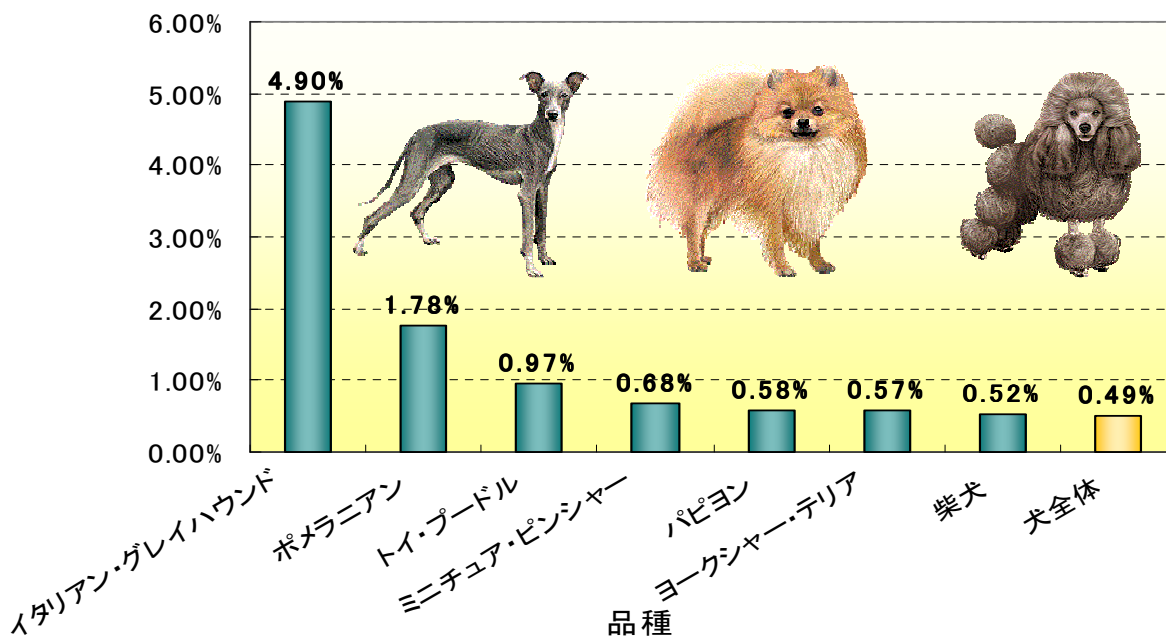
■ 骨折の発生率

犬における骨折の発生率を調査したところ、**0歳では1.5%であり**（1歳以降は0.25%以下）、特に注意が必要と考えられた（図1）。さらに、統計上十分な母数と考えられる1,500頭以上の契約頭数がある26品種において、それぞれの品種で骨折の発生率を調べたところ、**イタリアン・グレイハウンドの発生率が犬全体の0.49%に比べて10倍の4.9%と最も高かった。**続いて、**ポメラニアン、トイ・プードル**の発生率が高かった（図2）。

【図1】骨折の年齢別発生率



【図2】骨折の品種別発生率（犬全体の平均よりも高値の品種のみ）



【図1】2006/10/1～2007/9/30までに契約を開始した犬、227,876頭を調査

【図2】2007/4/1～2008/3/31までに契約を開始した犬、293,768頭を調査

アニコム契約頭数に対して、骨折で一回以上の請求があった犬の割合を発生率とした。

骨折が多いわんちゃんは

年齢は**0歳**、

犬種は**イタリアン・グレイハウンド**、

ポメラニアン、トイ・プードルでした。

これらのわんちゃんは生活環境などに特に注意しましょう！

